

2025 年度 地域連携推進会議 議事録(共同生活援助)

事務所名； グループホームエース東

開催日時； 2025 年 11 月 28 日金曜日 午後 14 時 00 分～午後 15 時 30 分

開催場所； オリニックマンション北 25 条

構 成 員；	利用者 1 名	K 様
	利用者の家族 1 名	O 様
	地域福祉に見識を有する方 2 名	M 様（町内会会長）
		K 様
	職員 2 名	松村 相澤管理者

出 席 者； 上記構成員全員参加

（司会者； 相澤 記録者； 佐藤 ）

議 題； ① 開会
② 地域連携推進会議の趣旨説明
③ 構成員の自己紹介
④ 障害についてのレクチャー
⑤ 施設とサービスの紹介
⑥ 利用者の日常生活状況の説明
⑦ 近隣からの苦情などの共有
⑧ 経営状況などについて
⑨ B C P（業務継続計画）の策定状況について
⑩ 虐待、自己、ヒヤリハットの報告
⑪ 職員の支援体制
⑫ 利用者の意向アンケート
⑬ 施設見学
⑭ 閉会

議事進行

- ① 開会（相澤管理者 挨拶）
- ② 地域連携推進会議の主旨説明（相澤管理者 説明）
- ③ 構成員の自己紹介
- ④ 障害についてのレクチャー（松村 説明）

資料を基に説明

- ⑤ 施設とサービスの紹介（相澤管理者 説明）

現在北区で2か所、東区で1か所の計41室の39名の利用者様がお住いです。お部屋は全てマンションの1室のため個室タイプのGHとなっております。主に夜間の支援として、相談や食事の介護などその他必要な日常生活上の援助を行います。毎日訪室し、体調やお困りことなどの確認、掃除確認や介入、月に1回程度の個別面談や希望者に対して365日のお食事のお渡し、金銭管理等を行っております。コロナの発生以後レクリエーションは現在避難訓練のみの実施としております。今後は徐々に増やしていく予定です。

- ⑥ 利用者様の日常生活についての説明（相澤管理者 説明）

グループホームでは朝(8:00)・昼(12:00)・夕(17:00)・夜間(20:00～)巡回させていただいております。

※夜間帯は20:00～6:00まで2時間置きに各廊下を巡回し物音が聞こえないか等の確認も徹底しております。

＜日中活動先について＞

利用者によって日中活動に違いがあるものの、殆どの利用者様はB型事業所や地域活動支援センターの利用、一般就労(障がい者雇用枠)やA型事業所に通所されています。その他に6割程度の利用者様は精神科訪問看護等を利用し、医療面からも生活を支えてもらっている方が多いです。

＜同行支援について＞

単独での外出が難しい方などは職員の付き添いで病院受診や買い物同行等に行く事もあります。(GHの車を使う事もある)

また公共交通機関の利用に不安がある利用者様はスタッフと一緒に乗降の練習をして、移

動手段の選択肢が広がるような工夫もさせていただいております。(土日も対応)

<金銭管理>

金銭管理をGHで実施している方が半数以上おり、生活費をその方の能力に応じた方法でお渡ししております。また金銭の状況につきましては2か月～3か月おきに1回出納帳等を利用者様に説明してお渡ししております。

<服薬管理>

グループホームで服薬管理を希望される利用者様は‘直接お渡し⇒目の前服用’が原則となります(お薬カレンダーを使用されている利用者様は訪問看護スタッフがセットし、空袋をグループホームスタッフへお渡ししていただいております)

Ex)1日4回のお薬が処方されている利用者様は定時に4回スタッフが訪問しております。

日中・夜間帯問わず不調が見られた際は病院からの指示に基づいて頓服提供の対応も行っており、柔軟に対応できるよう薬管理・対応方法は工夫しております。

最近では癌末期と診断された利用者様も生活されている為、‘麻薬’の管理も始まりました。

<利用者トラブル>

年に数回は警察・救急搬送対応等を行っております。

【警察対応】

- ① グループホームのルールを無視して居酒屋で飲酒。店員・お客様と揉め事をして警察介入。
- ② 無銭飲食・窃盗により警察に保護される等。

【救急搬送】

I.夜間帯の突発的な腹痛・吐血・熱発等、医療の介入が必要となった際には救急搬送対応を行う。

II.一人で外出中に道端で転倒⇒救急搬送となった際も対応する。

等、緊急事態が発生しても冷静に対応できるよう、リスクマネジメントの共有を大切にしております。

⑦ 近隣からの苦情などについて(相澤管理者 説明)

<北区>

- ① 利用者様が大声を出しているとの通報からクレームが入る。
- ② 歩きタバコをしている場面を目撃されて苦情が入る。

<東区>

- ① タバコの吸い殻を下水管に捨てている
- ② 近隣のコンビニで迷惑行為(金銭所持していない利用者様がお客様にお金を要求する等)をし、店舗スタッフよりお叱りのお言葉を受ける。等、年に数回はクレームがあります。

⑧ 経営状況などについて（松村 説明）

⑨ B C P（業務継続計画）の策定状況について（相澤管理者 説明）

災害版と感染症版それぞれを策定しており、各事務所にてスタッフに共有・周知しております。

<災害時の避難先>

グループホームエース北（ワールドユニオンビル）

⇒札幌市立北辰中学校

グループホームエース北 26 条（グランツール北 26 条）

⇒北区民センター

※11/8 に避難訓練実施予定。

<感染時>

発熱等が見られる場合に療養期間が明けるまで対応時にはガウンや手袋、マスク・フェイスシールドなどを着用し対応。

罹患した利用者様が発見された際は、利用者様のニーズ（癌末期の利用者等）に合わせて介入するスタッフを固定する等の工夫をしている。

⑩ 虐待、事故、ヒヤリハットの報告（相澤管理者 説明）

ア.現状、虐待・身体拘束⇒実施した例はありません。

イ.事故⇒突然死・誤薬・忘薬・無断外出時に転倒で札幌市へ報告（過去 6 回）

ウ.ヒヤリハット⇒お薬提供時に別の利用者様にお渡しし、名前の不一致を発見した際やお弁当の渡し違い、落薬等、支援者側がヒヤッとした際には記録を残すように心がけている。

⑪職員の支援体制（相澤管理者 説明）

<常勤>

14 名（夜勤業務が必須）

内、インドネシアから 3 名、ミャンマーから 2 名のスタッフが活躍されております。

<非常勤>

4 名（フルタイム・短時間のパートタイマー）

<夜勤>

常勤兼務・夜勤専従併せて 23 名

⑬ 利用者の意向アンケート 実施しておりません。

⑭ 施設見学（桑原さんの部屋を公開）

⑮ 閉会

【質疑応答】

・クレームについて

M 町内会長：「町内からクレームはあったか？」

相澤管理者：「ここエース東ではないが、別な施設で電話でのクレームはあった。」

M 町内会長：「この施設は GH だとの認知が薄い、周りに GH だと知られていないから、グループホームだというクレームがないのかもしれない。」

・意向アンケートについて

K さん：「意向アンケートはありますか？」

相澤管理者：「今は実施していないが、今後あります」

K さん：「SF の聞き取りとは別の物ですか？」

相澤管理者：「聞き取りとは別の物です。それは GH の役割としてやっているものです。」

・地域に対する配慮

M 町内会長：「地域の方々に対し、十分な配慮をしてほしい。ここが GH だということを町内では副会長までしか知らない。町内の人に聞かれたら伝えるが、町内に向けて積極的に（マンションが GH だということを）伝えていない。町内ではほかに N という就労 B の施設があり、その施設からは町内会費を頂いている。福祉的な施設はこの町内で N とエース東の 2 件である。なにか出来事が起きることがないように、配慮をおねがいしたい。」

相澤管理者：「わかりました。」

・施設への意見

O さん：「父が入居した時は心配だったが、入居後は楽しく、仕事にも行けているようなので、有り難いと思っています。」

K さん：「時々、Y さんと挨拶します。ここにいと、家に居る時より楽しいです。」

年下の人が多い、若い人が多い印象です。」

了